



村内各小中学校で卒業式が開催され、
中学生9名が学び舎を巣立って行きました。

【Photo by 村上 修一】



Cover: 平成22年度 平島小中学校卒業式

- 02 水道料金改正、県議会議員選挙
- 03 空き家活用事業について
- 04- 観光・農業先進地視察研修報告
- 06- 卒業生紹介
- 08 地域づくり委員会 レポート Vol.3
- 09 ようこそトカラへ Vol.1
- 10 友好島民ご紹介 Vol.4
- 11 みんなで作ろう、集落農園。
- 12 役場 Information... 【住民課】
- 13- 役場 Information... 【総務課】
- 16 定期船予定表、人口情報 等

平成 23 年 4 月から 水道料金が変わります。

～安全且つ、安定的な飲料水提供に向けて～



広報としま 9 月号、11 月号

でもお知らせしましたとおり、水道利用者である村民の皆様、将来にわたって安全かつ安定的な飲料水を提供するため、平成 23 年 4 月 1 日をもって、下表のとおり「十島村簡易水道事業設置及び使用に関する条例」の一部が改正され、水道料金が変わります。

村民の皆様には、ご負担をお掛けしますが、簡易水道事業会計の健全な運営のため、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

○ 基本料金（月額）

口径	現行	改正後	温泉施設
13mm	200 円	400 円	200 円
20mm	300 円	500 円	300 円
25mm	400 円	600 円	400 円
30mm	500 円	700 円	500 円
40mm	600 円	800 円	600 円
50mm	700 円	900 円	700 円

○ 使用料金（月額）

	現行	改正後	温泉施設
1～5m ³	50 円	60 円	50 円
6～10m ³		70 円	
11～15m ³		80 円	
16～20m ³		90 円	
21～30m ³		100 円	
31～50m ³		110 円	
51～100m ³	100 円	120 円	
101m ³ 以上	200 円	200 円	

鹿児島県議会議員選挙

鹿児島県議会議員選挙は、平成 23 年 4 月 1 日に告示、4 月 10 日執行となっています。村内の投票は、次の日程になります。選挙制度の趣旨をご理解賜り、進んで投票しましょう。

1 投票日当日の投票

- (1) 期日 平成 23 年 4 月 7 日(木) (3 日線上)
- (2) 時間 午前 7 時から午後 4 時まで
- (3) 場所 入場券に記載してある場所

2 期日前投票

投票日当日に用務がある方、地域を留守にする方は、次の日程で期日前投票をすることができます。

【十島村役場】

- (1) 期日 平成 23 年 4 月 2 日(土)から
平成 23 年 4 月 6 日(水)まで
- (2) 時間 午前 8 時 30 分から午後 8 時まで

【口之島コミュニティセンター】

- (1) 期日 平成 23 年 4 月 3 日(日)から
平成 23 年 4 月 6 日(水)まで
- (2) 時間 午前 8 時 30 分から午後 5 時まで

投票日は 4 月 7 日(木)です。

3 不在者投票

十島村に選挙権がない長期滞在者または転入後、まだ選挙人名簿に登録されていない方は、次の日程で不在者投票をすることができます。

※ 不在者投票を希望される方は、4 月 4 日(月)出港の便に間に合うように選挙権のある市町村から投票用紙を取得する必要がありますので、詳細は選挙権を有する市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

【十島村役場】

- (1) 期日 平成 23 年 4 月 2 日(土)から
平成 23 年 4 月 6 日(水)まで
- (2) 時間 午前 8 時 30 分から午後 8 時まで

【村内】

- (1) 期日 平成 23 年 4 月 6 日(水)
- (2) 時間 午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
- (3) 場所 口之島・中之島・平島・悪石島コミュニティセンター、諏訪之瀬島住民生活センター、小宝島離島住民センター、高齢者コミュニティセンター

空き家活用事業 のお知らせ



村では村営住宅等が不足している地域

において、主に定住促進対策用の住宅を確保することを目的に村内にある当面利用する予定のない空き家を村で一定期間借上げ、生活するために必要な改修等を行い、定住を希望する転入者等に貸し出すための条例を平成22年10月1日から施行しました。

条例の主な内容は、次のとおりです。

本年度は、4軒、来年度は十数軒の改修を行う見込みです。ご近所に当面ご利用にならないような空き家がございましたら、総務課までご紹介ください。

1 借上げ相手

当該空き家に係る所有権、または売却若しくは賃貸を行う権利がある者で、村税等に滞納がない者に限ります。

2 改修範囲

次に掲げるもの。ただし、一般的な通常の生活を可能にするための最小限度の範囲で行います。

- ・ 台所、浴室、便所、洗面所等
- ・ 内装、屋根、外壁、柱、はり等
- ・ 合併浄化槽
- ・ 家財道具の運搬・廃棄
- ・ 家屋・屋外の清掃
- ・ 家屋の解体
- ・ その他特に支障があると認められる箇所

3 改修費用の限度額

四百五十万円まで

4 借上げ期間

借上げ期間は、家屋の改修に要した費用により、最低限度お貸ししていただく期間が決まります。

改修費用が百五十万円以下の場合には5年以上を、百五十万円を超え百八十万円以下の場合には6年以上を、以後三十万円ごとに1年が加算され、最高の四百五十万円では15年以上をお貸ししていただくこととなります。

5 借上げ金額

敷地を含めて月額二千円です。ただし、改修費用が百五十万円以下だった場合は月額三千円、改修費用を要しなかった場合は月額四千円になります。

6 中途解約

契約期間内に解約する場合は、改修に要した費用から、契約した日からの経過年数に三十万円を乗じた額を控除した額を返還しなければなりません。(6カ月以上前に通知が必要です。)

7 貸付条件

次に掲げるものを除き、基本的に村営住宅条例に準じます。

- ・ 貸付期間は、借上げ期間の範囲内とする。
- ・ 中途解約をすることとなったときは6カ月前に通知します。
- ・ 家賃は月額五千円です。
- ・ 新規転入者の家賃は、転入の日から2年間減免することができます。
- ・ 村営住宅条例にある修繕に係る一部負担金、および明け渡し時のふすま、畳替えの責務を免除することができます。

小値賀町

〈観光視察研修〉



民泊、体験型観光の先進地視察として、

1月20日から22日にかけて長崎県小値賀町で行われた観光視察研修。本研修には、各島住民、役場職員合わせて9名が参加し、小値賀町役場などでの講義研修等はもちろんのこと、参加者全員が実際の農家民泊や体験型観光などを体験しました。農家民泊は、「普段と変わらない小値賀町の生活を体験する。」をコンセプトに、一般の家庭で親戚が遊びに来たかのように温かく迎えていただき、一緒に食べ、語り、過ごすとともに、食事の準備や後片付け、農作業の手伝いや家族との散歩などを体験しました。この体験を通して「島」だけでなく「島民」の温かさや素晴らしさを強く実感し、本村の観光振興に大きく寄与する有意義な先進地研修となりました。

【参加住民の声】

- ・本村においては、タケノコ狩り、トビウオ漁、農業・畜産体験、御岳トレッキングなど多くの企画が考えられるので、その進め方、やり方等、**今回の研修で得た体験を活かしたい。**
- ・「民泊」というスタイルは、ありのままの「**田舎暮らし**」を体験してもらうことができるとともに、それが仕事となり、自分達も**満足感を得られる**ため、十島村でもできると思う。
- ・「おじかアイランドツーリズム協会」の方のガイドは「**プロの仕事を見た。**」という印象を得た。ガイドでお金を頂くことは努力すれば可能であると感じた。
- ・我々が見ている自然(景色)、日常食べている物、そういうあまりにも日常的過ぎる物を見つめ直し、違う角度から観察すれば非常に**面白い発見**があると感じた。
- ・「民泊」は、ほとんどが学生の受入れであり、家事手伝いもすることから、大人には合わない気がしていたが、実際体験してみても色々な話しをすることができたので、**大人をターゲットにしても十分成り立つ職業(システム)**だと思った。
- ・今回の研修で、我々の住む島の資源、自分自身をもう1度**見つめ直す良い機会**が得られた。

【小値賀町 DATA】

小値賀(おじか)町は、長崎県五島列島北部の小値賀島と周辺の島々を行政区域とする町で、北松浦郡に属する。人口約2,911人。春にはおぢか国際音楽フェスティバルがあり、多くの観光客が来島する。また、恵まれた自然を活かした体験と、農業・漁業等を舞台とした交流を通しての活性化を図る「体験型ツーリズム」をキーワードに観光事業を展開している。

沖永良部

〈農業視察研修〉



農業、産業分野の先進地視察研修として、1月30日31日の2日間にわたり開催された沖永良部島視察研修。各島住民、役場職員合わせて16名が参加しました。研修では、花き流通センターや農作物実験農場などの主要農業施設はもちろんのこと、スプレー菊や馬鈴薯、マンガーや島バナナなどを生産する農家を訪問し、畑や農場、各種機材等をはじめ、塩害や風害などへの環境対策や、出荷ルート、経営方法など、多岐にわたり学ばせていただきました。参加者からは、県内トップクラスの技術や農業経営はもちろんのこと、地元農家の方々の農業に対する想いや姿勢、情熱、「助け合い、譲り合い」の精神などを肌で感じ、村内各島での今後の取組や、十島村の農業の可能性において大きな成果を得たようでした。

【沖永良部 DATA】

沖永良部島は奄美群島の南西部に位置する島。鹿児島県大島郡に属し、和泊町と知名町の2町からなり人口約14,000人。

温暖な気候と適度な降雨は農業に適している。島には赤土の畑が広がっており、ジャガイモやサトウキビの他、特産のテッポウユリ（エラブユリ）やフリージアなどの球根栽培、グラジオラスなどの花卉栽培などが盛ん。

【参加住民の声】

- ・今回のような農業視察研修をぜひ年1回実施してほしい。
- ・長期に渡り計画を立て、さっそく**農地整備**に取り組みます。
- ・地元の方々の営農指導員に対する**信頼感**の深さを見て、とにかく始めれば、きっと形になっていくだろうという手応えを感じた。
- ・沖永良部の方々の人柄が大変良く、**地域全体で共に向上**し合いながら豊かになったのだと実感した。
- ・基盤整備も大事だと強く感じたが、農家や住民が**一致団結**して盛り上がり、**共に成長**できる環境作りも重要だと思った。
- ・本村でも木柱平張りハウスを活用すれば、台風、害虫にも「**強い農業**」ができるとともに、農地の基盤整備を行えば「**稼げる農業**」ができる。
- ・良好とは言えない環境の中で様々な努力をし、現在の**安定した農業経営**を行っており、本村でも活かせるような技術が多数あり、とても参考になった。
- ・沖永良部の農家は、同じ志の者達の**横の連携**、共に栄えようとする**連帯感、情報交換**、何をとんでも「**素晴らしい!**」の一言に尽きる。
- ・今回参加できなかった方も、次回開催された際はぜひ**積極的に参加**してほしい。

おめでとうございます！

桜の花が咲き誇り、心地良い季節となってきた3月。

口之島、中之島、平島、悪石島、小宝島では、夢と希望に満ち溢れた9名の生徒が、学び舎を巣立っていきます。

卒業生9名には、各学校や各地域で学んだ多くのことを胸に、それぞれの夢、目標に向かって大きく羽ばたいてもらいたいものです。ここでは、今年の卒業生9名をご紹介します。これからも頑張ってください。



この島での 経験を誇りに—

口之島中学校3年
中村 まちさん

15年間、温かく見守って下さった地域のみなさん本当にありがとうございました。これからは親や友達と離れ生活することになります。辛いことや多くの壁にぶつかることもあると思いますが、この島での経験を誇りに夢に向かって前進していきたいです。

将来は小さい頃からの夢である医療や福祉の仕事に就き、社会に貢献していきたいと思います。



平島に来て 本当に良かったです—

平島中学校3年
日高 愛恵里さん

平島に来て約3年半がたちました。この平島にいる間、たくさんのとても楽しい思い出ができました。平島に来て本当に良かったです。高校では、生徒会活動や、部活動、勉強をがんばりたいです。しかも寮生活なので、また違う力もつくと思います。高校生活を充実させて、毎日楽しく過ごしたいです。



感謝する気持ちを 学びました—

口之島中学校3年
肥後 杏寿さん

2年前に山海留学生として来ました。

この島に来てから人に感謝する気持ちを学ぶことができました。この先もいろんな人と出会い、いろんな人と別れ、その中で出会ってきた人に感謝。別れるときにも今までお世話になったことに感謝して、素直な大人になれたらいいと思っています。自分自身大きく成長した姿で父のふるさと口之島へ、また足を運びたいです。



2年間、お世話に なりました—

中之島中学校3年
山崎 隆博さん

私は中学2年の時に中之島に引っ越してきました。釣りを極めようと頑張りましたが、もう卒業の時がきました。将来の夢はまだわかりません。でも、高校を卒業してちゃんとした仕事をしたいです。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

向かって、頑張ってください！

卒業生の皆さん、卒業



高校で多くの事を学びたいですー

平島中学校 3年
日高 翔平さん

僕の目標は高校生活を充実させることです。自分の将来の夢にむかって、高校でたくさんのことを学びたいです。そして、立派な大人になって故郷に錦を飾りたいです。



人に頼りすぎないようにしたいですー

悪石島中学校 3年
有川 真里奈さん

私の、学校生活での思い出は、昼休みなどに小学生も中学生も一緒になって遊んだことです。ドッジボールなどしてとても楽しかったです。今後の目標は、卒業すると悪石島を離れて暮らさないといけないので人にあまり頼りすぎないようにしたいです。



バトミントンを頑張りますー

悪石島中学校 3年
有川 凌さん

僕は、もうすぐ中学校を卒業します。中学校には、様々な思い出があります。別れるのは、とても寂しいですが、高校に入学するのはとても楽しみです。高校では、バトミントンをまた頑張りたいです。



楽しい思い出ができましたー

平島中学校 3年
中島 佳奈さん

私は中学校生活の中で一番心に残っていることがあります。それは修学旅行です。自分の島の人だけではなく、他の島の人達とも楽しい思い出ができたのでとてもよかったです。また、長崎や福岡に行くことができ、自分の中でとてもいい経験になりました。私は修学旅行で経験したことを忘れずにこれからも一歩ずつ大人になっていきたいです。



本当にありがとうございましたー

宝島中学校
小宝島分校 3年
早川 将大さん

小宝島分校での思い出はたくさんありますが、中でも運動会が一番心に残っています。小宝島の運動会は他の学校にはない島独特の種目があったのでとても楽しかったです。それに運動会では、島民の方も参加するので交流をして関係をより深めることができました。僕は将来の夢がまだはっきりと決まってはいませんが、食物科に入りたいと思っているので「食」に関する仕事ができればいいです。小宝島の島民の方々、里親さん、児童生徒のみなさん、先生方、今までいろんなことを支えてくださり本当にありがとうございました。

これからも、それぞれの夢に



△悪石島地域づくり組織設立検討会のようす

十島村 地域 づくり 委員会

REPORT

—— vol.03 ——

地域が主体となり活動が続けられている、各島「地域づくり委員会」。今回は悪石島、小宝島、宝島の近況を報告します。



△ 悪石島コミュニケーション協議会のようす

悪石島

会長、副会長、会計、監査が各1名、理事4名、その他住民を構成員とし組織された悪石島コミュニケーション協議会。コミュニケーションとは、フランス語で基礎自治体、小規模な共同社会を意味します。悪石島コミュニケーション協議会では、「互いの連帯と福祉を増進し、明るく住みよい地域を目指す」ことを目標に、これまで4回の検討会、及び協議会が開催されました。各回ともに住民20名以上、多い時で30名以上が参加し、住民一丸となって活動が進められています。

小宝島

小宝島地域づくり委員会は、会長1名、副会長1名、会計1名、その他住民を構成員として組織し活動を行っています。これまでに住民全員を対象とした、島の現状や目標などのアンケート聞き取り調査のほか、4回の話し合い活動が開催され、毎回多くの住民（構成員）が参加し、委員会としての具体的な活動内容、取組みなどの検討が進められています。また、小宝島では、「つくる」、「活かす」、「暮らす」の3つのグループに分かれ、各テーマごとに話し合い、地域づくり活動を行っています。



△ 小宝島地域づくり委員会(グループ)のようす

宝島

宝島においては、以前からも積極的な山海留学生の呼び込みや、IUターナー者の受入れ、小規模多機能居宅介護類似事業「やすらぎ教室」の実施など、自治会が中心となり積極的に地域づくり活動を行ってきました。これまで4回の地域づくり組織設立検討会が行われてきましたが、今後も引き続き宝島自治会が中心となって、地域づくり、ふるさとづくりを行っていくことが決定し、過疎化や少子高齢化など島を取り巻く諸問題の解決や、島の更なる発展のため活動していくこととしています。



△宝島地域づくり組織設立検討会のようす

ようこそトカラへ。

【十島村新規定住者ご紹介 Vol.1】
ここでは、本村にUターンされた方々
をご紹介します。今回は、宝島の竹内さ
ん、諏訪之瀬島の山内さんです。

Welcome To TOKARA

毎日、充実した日々を過ごしていますー

宝島自治会はじめ宝島島民皆様のお陰で毎日充実した日々を過ごしています。この充実感をバネにしてこれからも一島民として、様々な活動をしていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。この度、より多くの方に私たちの活動を知って頂くため、HPを立ち上げました。この機会にどうぞご覧になってください。
<http://oniyoneproject.com>

Q、最後に、何か一言お願いします。

宝島自治会はじめ宝島島民皆様のお陰で毎日充実した日々を過ごしています。この充実感をバネにしてこれからも一島民として、様々な活動をしていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。この度、より多くの方に私たちの活動を知って頂くため、HPを立ち上げました。この機会にどうぞご覧になってください。



【宝島】

竹内さん一家

竹内 功(38歳)

妻・寿恵(32歳)

～平成22年8月移住～

Q、定住の決め手を教えてください。

昨年6月、下見に訪れた際に体験したトビウオ漁です。島民が1つとなり、物事をやり遂げる姿に深く感銘をうけ、この島、地域で生活したいと強く願う様になりました。

都会生活が当たり前になってしまっていた私たちにとって、この作業は簡単ではありませんでしたが、その中で生まれるやりがい、達成感は何ともしえず、昨日の事のように覚えていきます。私たちが忘れてかけていた協働作業、本来の自分を発揮するためこの定住を決意しました。

Q、これからの目標、夢を教えてください。

生活の知恵を駆使しながら、地域で支えあって暮

自然が多く残る場所で、家族全員で暮らしたいー

宝島自治会はじめ宝島島民皆様のお陰で毎日充実した日々を過ごしています。この充実感をバネにしてこれからも一島民として、様々な活動をしていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。この度、より多くの方に私たちの活動を知って頂くため、HPを立ち上げました。この機会にどうぞご覧になってください。

Q、最後に、何か一言お願いします。

宝島自治会はじめ宝島島民皆様のお陰で毎日充実した日々を過ごしています。この充実感をバネにしてこれからも一島民として、様々な活動をしていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。この度、より多くの方に私たちの活動を知って頂くため、HPを立ち上げました。この機会にどうぞご覧になってください。



【諏訪之瀬島】

山内さん一家

山内 洋征(29歳)

妻・昭子(26歳)

娘・和奏(6歳)

～平成23年2月移住～

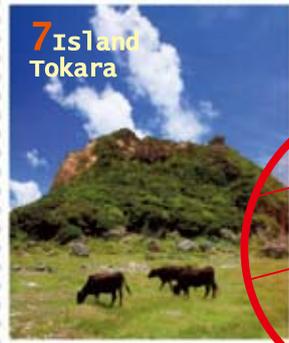
Q、定住の決め手を教えてください。

教えてください。

都会のように汚染されていない自然が多く残る場所で、家族全員で暮らしていきたいという思いを抱いてるさなか、NPO法人代表の日高さんの熱い思いをWEBサイトで見付け、その思いに共感し、心を打たれ、そこから島の事を調べたり、実際に島に訪れたりして定住する事を決意しました。

Q、これからの目標、夢を教えてください。

自分たちが食べるものはもちろんですが、最終の目標としては、それ以外にも必要なものは、なるべく自給自足でまかなっていきるのが夢であり、目標です。あとは島でできる食材や資材等を利用して、加工品の生産・開発もしていきたいと思っています。それを十島村の皆さんはもちろんだ、日本全国、世界中の方の手に届くようにしていけるよう、思案中です。



友好島民ご紹介 Vol.4

十 島 村 友 好 島 民

住民の皆様をはじめ、関係者及び会員の皆様のご協力により、今年で会設立5年目を迎えた「十島村友好島民の会」。ここでは、これまでに引き続き、日頃よりご支援いただいている友好島民の方々をご紹介します。

椰子の実



十島村友好島民の会
会員No.00825

羽賀 一男さん
(ハガ カズオ)

平成21年の日食ツアーへの参加は、騒いだ天文ファンの血と、子供の頃、日本地図で南海に不思議な名の列島を発見し、とても興味を覚えた記憶が甦り、その島々を体験するにはこの機しかないと考えたからであつた。

神の気まぐれには泣かされたが、宝島では生涯忘れ得ない思い出と土産を得た。島内ツアーで、我々は波に洗われる石の間に椰子の実を発見した。ガイド氏の話では、台風の後では良くある事。しかし「椰子の実」の歌の情景の憶れていた私にはただ事ではなく、持ち帰る人がいないことを確認後、私は手持ちの袋に実の一つを仕舞い込んだ。

以来、我が家の玄関脇には椰子の実と海水浴場で採取した白い砂の入ったボトルが来客を迎えている。

私と十島



十島村友好島民の会
会員No.00873

尾上 宗一さん
(オノウエ ソウイチ)

私の趣味は農業です。熊本でイチジク、イチゴ、ミカン、バナナ等を栽培してきました。果物は特にトロピカルフルーツが好きです。老後は寒さに弱いので露地でトロピカルフルーツ栽培のできる、暖かい南の島、そして温泉が好きなのでその条件に合う島を探しました。十島村にその様な島があると分かり、役場に電話をしました。

最初に対応してくれたのが、肥後さん、次に対応してくれたのが隈元さん、肥後と隈元ですから、これは縁がある、十島に行く運命があると思ひ、昨年の春の連休に肥後さんの出身地で親父さんが住む中之島を訪れました。昨年秋季には開墾を永田村議と肥後の爺さんで行い、色々な果物の苗を植えました。老人パワ―で村起しをやりましょう。

事務局からのお知らせ

■ 友好島民の会会員の皆様のコメントを募集しています ■

会員の皆さんのトカラでの思い出や、住民、会員の方々へのメッセージなど、十島村に関するコメントを募集します。記入にあたっては任意の様式で構いませんので、会員番号、氏名を記入し、可能であれば顔写真、思い出の写真等を同封のうえ、メール、若しくは郵送にて役場広報係まで送付して頂きますようお願い致します。多数のご応募をお待ちしております。

みんなで作ろう、集落農園。

経済課 営農指導員 山下征任



平島講習会

昨年6月から各島を巡り、住民の方々と営農はもちろん、十島村の自然とそこに織りなす生活等について、貴重な体験談を交え親切に教えていただき、厳しい自然条件の中でたくましく築き上げられた歴史の深さに感銘致しました。

今後更に十島村が豊かで、人々が輝きのある生活を営み、ますます発展するために、営農指導員として少しでもお役に立てるよう努めて行きたいと思っております。

各島を巡る内に、十島村も他の町村同様に少子高齢化が進み、耕作地の放棄が多くみられ、特にヤギ、竹、ヒヨドリ、キジ、ヤガ、アリモドキゾウムシ等の被害で栽培意欲が無くなったとお聞きしました。

昨今では、全国各地で遊休農地を活用した「都市農園」が整備され、多くの人々が楽しんで活用しており、「都市農園」の利点も色々

と紹介されています。特に「無縁社会」といわれる近年では、地縁、血縁も薄れ、多くの人々が寂しく暮らす社会情勢の中、「都市農園」は幅広い人との交流ができると歓迎されています。

各島の集落内を回ってみますと、自給野菜の栽培が非常に少ないのが目に付きます。村では、集落の話し合いで豊かな食生活ができるよう、また、各島の中堅農家、高齢者、子供、教員、U・Iターン者等が、生産活動とコミュニケーションの場として集落農園を自らの手で作り活用できるよう、ユニボ、トラクター、小型管理機等を各島に配置しました。

営農指導員としても、今後更に住民の皆さんが豊かな食生活を送れるよう、また、集落農園が有効且つ有意義に活用できるよう、栽培技術講習会等を積極的に実施して参りたいと考えておりますので、皆さんどうぞご参加ください。

都市農園（集落農園）とは…

一般に都市農園（集落農園）とは、サラリーマン家庭や都市の住民の方々がレクリエーションとしての自家用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園のことをいいます。

このような農園は、ヨーロッパ諸国では古くからあり、ドイツではクラインガルテン（小さな庭）と呼ばれ、わが国では、都市農園（集落農園）と呼ばれるほか、レジャー農園、ふれあい農園などいろいろな愛称で呼ばれています。鹿児島市では、松元さしきばる農園、都市農業センター市民農園、奄美市では奄美市市民農園などが開設されています。



小宝島講習会

役場 Information...

～役場各課から大切なお知らせです～

住民医療費助成は、十島村住民に対し医療費の助成を行うことにより健康保持と医療費自己負担分の軽減を図ることを目的として行われています。

保険給付を受けた日の属する月の翌月から起算して6ヶ月以内に領収書を添付して申請してください。

対象者については、本村に住所を定めてから2年以上経過した者等の条件が必要です。また、所得金額等で基礎控除額が異なります。(次の表のとおり)

所得金額の範囲	基礎控除額
0円～30万円未満	5,000円
30万円～50万円未満	6,000円
50万円～70万円未満	7,000円
70万円～100万円未満	8,000円
100万円～130万円未満	10,000円
130万円～160万円未満	15,000円

(注意事項)

- ① 所得金額(確定申告書基準)は、当該世帯にかかる前年の総所得金額等の合計額から被保険者1人について5万円を控除した額になります。
- ② 8月診療月分～翌年7月診療月分までの1年間が同じ基礎控除額となります。
- ③ 医療費助成の対象については、保険点数医療費のみが対象となりますので、入院の際の食事代・衣服代・部屋代等は含まれません。

↑所得金額が160万円以上の方は、助成非該当(所得オーバー)になります。

- ④ 医療費助成の支給までには、高額療養費等の計算含め4～5ヶ月掛かります。(レセプト等の状況により、5ヶ月以上係る場合もございますので、ご了承ください。)
 - ⑤ 申請については、領収書の添付がなければ支給できませんので、ご注意ください。
- ※ その他不明な点については、役場住民課保険係へお問い合わせください。

住民**医療費助成**申請は、診療月の翌月から**6か月以内**に領収書を添付して**申請**しましょう!!



介護視察研修を行いましたー

3月10日、11日の2日間、「共生ホーム よかあんべ(加治木町)」等で、住民31名が参加し介護視察研修を行いました。研修では、介護施設等の見学や介護保険についての勉強会を行ったとともに、宝島でのやすらぎ教室等についての報告も行われました。各島々の楽しい交流会も行われ親睦を深めました。

研修会時に行ったアンケート結果は下記のとおりです。

① 宝島での取り組み「介護事業やすらぎ教室」についての感想ー	とても良い	まあまあ良い	ふつう	あまり良くない	良くない	無回答	合計
	17	11	0	0	0	1	29
	58.6%	37.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	100.0%

② 宝島での取り組み「介護事業やすらぎ教室」を自分の島でも希望しますか?	はい	いいえ	わからない	無回答	合計
	22	0	5	2	29
	75.9%	0.0%	17.2%	6.9%	100.0%

③ ご自分の老後についての考えを教えてください。	いつまでも島で	できる限り島で	自分でできなくなったら島外へ	ある程度で島外へ	無回答	合計
	5	14	6	0	4	29
	17.2%	48.3%	20.7%	0.0%	13.8%	100.0%

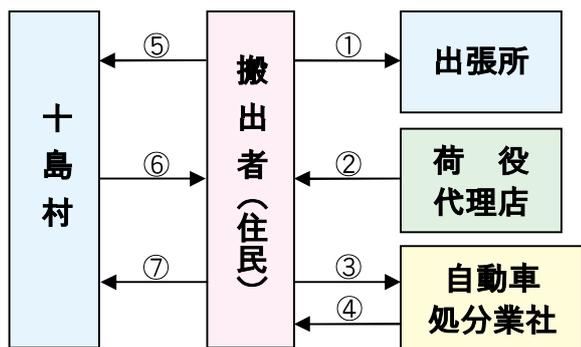
使用済み自動車は島外搬出が必要です。

使用済み自動車の処分については、自動車の放置を防止することにより、十島村の自然と良好な生活環境の維持を図ることを目的として、平成 14 年 3 月 25 日から施行された『十島村自動車放置防止条例』より**島外搬出を行う事が義務化されています。**これに伴い、十島村では使用済み自動車の島外搬出に伴う海上輸送費の一部（輸送にかかる定期船運賃の 8 割）を補助金として交付しています。

海上輸送費の補助金申請は次のとおりです。

- ① 使用済み自動車が発生したら、『自動車処分届書』を出張所へ提出します。
- ② 定期船で村外へ搬出する日程調整の連絡が、荷役代理店（中川運輸）よりあります。
- ③ 自動車処分については、各個人で業者へ依頼し処分を行なわなければなりません。
- ④ 処分完了後、『引取時料金通知書と使用済み自動車引取証明書』が処分業者より発行されます。

補助金の申請方法



- ⑤ 自動車の処分が完了したら、『使用済み自動車等海上輸送費補助金交付申請書』に必要事項を記入し④で発行された『引取時料金通知書と使用済み自動車引取証明書』と定期船運賃の支払い領収書のコピーを添付し役場へ提出します。
- ⑥ 役場は⑤で提出された申請書を審査し異常のない場合『補助金交付決定通知書』と海上輸送費の補助金に係る請求用紙書を搬出者へ送付いたします。
- ⑦ 請求用紙の提出後補助金が交付されます。

海上輸送費用明細

補助金については、下記海上輸送費に係る定期船運賃の 8 割が交付されます。なお、解体・リサイクルに係る費用は自己負担です。

	口之島・中之島	平島・諏訪之瀬島・悪石島	小宝島・宝島
軽自動車	6,384 円	6,528 円	6,648 円
普通自動車	10,617 円	10,839 円	11,061 円

昨年 10 月から 12 月に行われた、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい運動につきましては、多くの住民の方々にご協力いただき、本村では前年度を上回る、計 **239,848 円** の寄付金が集まりました。この寄付金は、共同募金会に送金され、福祉、ボランティア等、様々な分野の活動に活用されます。ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金、ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金



**JA 役場出張所窓口の
営業時間が平成 23 年 5 月から
変更になります！！**

- ① 営業時間 公金の収納 **8:30~16:00**
※公金の支払は変更なし（8:30~15:00）
- ② 開始時期 平成 23 年 5 月 6 日～

※なお、16:00 以降の収納（住民票や戸籍謄本などの手数料など）は、出納室（出納係）が行なうこととなります。

営業時間は 16 時までですー

鹿児島県 JA の全国統一事務手続の導入に伴い、JAグリーン鹿児島においても「当日収納した現金は午後 5 時までに総括店に入金処理を終了させる」こととなったことから、JA 役場出張所においても営業時間が見直されることになりました。

見直し後の営業時間については次のとおりです。住民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

軽自動車税は、毎年 4 月 1 日現在に登記されている、バイクや軽自動車などの所有者に対して課税されます。

たとえ 3 月 31 日までに、車両の廃棄や他人への譲渡を行っていても、同日までに総務課、各島出張所、若しくは軽自動車連合会にて**廃車、譲渡申告などを行っていないければ、昨年どおり平成 23 年度の軽自動車税が課税され、税金が発生してしまいます。**

廃棄や譲渡を行った方で、申告書の提出がお済みでない方は、次の場所でお早めに手続きを行ってください。ご不明な点は総務課税務係にお問い合わせください。

**軽自動車の
廃車手続き
名義変更は
お済みですか？**

介護保険料	国民健康保険税	水道使用料	軽自動車税	固定資産税	村県民税
222 千円	407 千円	49 千円	69 千円	576 千円	927 千円

**村税等各種料金の
100%収納完了に
ご理解とご協力を
お願いします。**

納税はお済みですかー

本村において、貴重な自主財源である村税等各種料金の滞納金や、義務を果たさず、権利だけを主張する滞納者を放置しておくことは、村財政に悪影響を及ぼすだけでなく、納期限内に納付し、遅延無く納税義務を果たされた大多数の皆さんに対して公平性を欠くこととなります。

その対策として村では村税等各種料金において滞納がある場合、村が単独で交付、支給する一部の補助金、貸付金、及び賃金等の支給において停止、制限することとしています。

滞納税等のある方は、早急且つ確実に納入していただきますよう宜しくお願い致します。

払出伝票(当座性貯金払戻請求書)の記載、押印は**正確**をお願いします。

グリーン鹿兒島農業協同組合口座から預金等を払出す際に提出する、払出伝票(当座性貯金払戻請求書)について、記入漏れや誤り等により払出しできない場合がございます。記入の際は、次のとおり、黒ボールペンにて正確且つ鮮明に記入、押印してください。

村内で使用する、パソコンの購入費を助成しています！



村では、インターネット接続サービスが開始されたことに伴い、このサービスをより多くの住民にご利用していただくため、平成21年10月から**平成23年3月まで**、パソコンの購入に助成を行っています。

申請期間は残りわずかとなりました。未だ購入されていない方は、お早めに申請を行ってください。

ご購入をされる際に、販売店に発行していただく様式がございますので、必ず、ご購入前に、役場総務課、または出張所窓口にお問い合わせください。

※申請期間は

平成23年3月末日迄です。

1 補助の対象物

- (1) パソコン本体を含む周辺機器。又はプリンター。
- (2) 1世帯につき1台(1式)以内。
- (3) 村で提供しているインターネット接続サービスを利用していなければなりません。
- (4) 一般の販売店から購入したものの、個人間売買については補助対象とはなりません。

2 補助の対象者

- (1) 村内に住所を有し、かつ、居住している世帯の世帯主で、転入の日から1年を経過している方です。職業上、村外への異動対象者となつて居る方は対象外です。
- (2) 村内で使用するパソコンを購入する方。
- (3) **村税等の公共料金に滞納がない者。**

3 補助の申請

購入日から起算して30日以内に次の書類を提出しなければなりません。

- (1) 補助金交付申請書(第1号様式)
- (2) パソコンの性能等がわかる仕様書の写し
- (3) 購入額を確認できる領収書の写し
- (4) **販売店の販売証明(第2号様式)**

4 補助金の額

補助金の額は、購入費用の2分の1以内で5万円を限度としています。

村営定期船 フェリーとしま



十島村航路対策室

TEL 099-222-2101



平成23年 3月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 予定	火 出	水 入	木 入	金 出	土 入	日 出	月 出	火 入	水 入	木 入	金 入	土 入	日 入	月 出	火 入	水 入	木 入	金 出	土 入	日 入	月 出	火 入	水 入	木 入	金 出	土 入	日 入	月 出	火 入	水 入	木 入
便区分	名瀬便 / 佐			名瀬便 / 新				宝島便 / 碓泊		宝島便 / 碓泊		名瀬便 / 新			宝島便 / 碓泊				名瀬便 / 新			宝島便 / 碓泊				名瀬便 / 新			名瀬便 / 新			

4月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜 予定	金 出	土 入	日 入	月 出	火 入	水 入	木 入	金 入	土 入	日 入	月 出	火 入	水 入	木 入	金 出	土 入	日 入	月 出	火 入	水 入	木 入	金 出	土 入	日 入	月 出	火 入	水 入	木 入	金 出	土 入
便区分	名瀬便 / 新			宝島便 / 碓泊		宝島便 / 碓泊		名瀬便 / 新			宝島 / 碓泊				名瀬便 / 新			宝島便 / 碓泊				名瀬便 / 新	住民健診便	名瀬便 / 佐	悪石島碓泊	名瀬港碓泊			宝島便 / 碓泊		

2011年7月24日、アナログ放送が終了します。 地デジの準備はお済みですか？

☆地上デジタル放送視聴のための低所得者支援の拡大について☆

まだ地上デジタル放送に対応できていない

「世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯」

に、簡易なチューナー(1台)を無償で給付(配送)します。

詳しくは、

総務省・地デジチューナー支援実施センター(0570-023724)

へお問い合わせください。

※NHK放送受信料全額免除世帯への支援の問合せは、

総務省・地デジチューナー支援実施センター(0570-033840)まで



村の人口・世帯数 平成23年2月末現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	53	62	115	78
中之島	77	67	144	87
平島	35	36	71	40
諏訪之瀬島	33	24	57	28
悪石島	26	35	61	33
小宝島	29	23	52	30
宝島	55	52	107	66
合計	308	299	607	362

編集/発行…十島村 総務課 広報係
〒892-0822 鹿児島市泉町14-15
TEL: 099-222-2101 FAX: 099-223-6720



『2011年も仲良く楽しく頑張ってます!!』

イマキラ学級の子も達は、2月、バレンタインのためにお菓子作りをしました。役場の太山先生に、生チョコケーキなどを教えていただいたり、クッキー作りを頑張ったり。バレンタイン当日には生チョコを作ってお世話になっている人たちにお礼をする事が出来ました。

3月は雛飾りを作って郵便局に飾らせていただいたり、悪石島の保育士の方に工作、粘土遊びをしていただき、子供たちはとても楽しそうに作品を作っていました。寒い中も外で元気いっぱいイマキラっ子達でした。

宝島イマキラ学級

